

令和7年度

福島町議会
定例会9月会議

令和7年9月16日(火)

一般質問通告書

福島町議会

令和7年度福島町議会定例会9月会議 一般質問通告書目次

番号	氏名	質問事項	頁
1	木村 隆	「こども誰でも通園制度について」	3
2	佐藤 孝男	市街地でのヒグマ緊急発砲施行に伴う対応について	4
3	熊野 茂夫	ヒグマ対策について	5
4	平沼 昌平	若者の地元定着に向けた教育・雇用の連携強化について	7

令和7年9月9日
10時00分 受領

令和7年9月9日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 6番 木村 隆

一般質問通告書

令和7年9月16日開催の令和7年度福島町議会定例会9月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
「こども誰でも通園制度について」	<p>国は、育児負担の軽減と子どもの健やかな成長を支援するため、就労要件を問わず未就園児（生後6カ月～満3歳未満）が保育施設を利用できる「こども誰でも通園制度」を来年4月から施行しようとしています。</p> <p>函館市では令和6年4月より試行的に受け入れ可能な認定こども園でスタートし、保護者が子育てから離れ自分の時間を少しでも持てることで育児負担の軽減につながっているものと思います。</p> <p>近年の当町の出生数は令和7年度がこの8月末まで0人。令和6年度が14人。令和5年度が6人です。何人がこの制度利用の該当となるか現状わからないものの、来年4月から制度を開始する場合、保護者ニーズに応じていかなければならない。</p> <p>以下の点について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none">・この制度を来年4月から当町で開始する予定があるのでしょうか。・開始予定であるのなら、保育士の配置基準や負担を考えれば未就園児クラス（ひよこ組）に空きがある場合、利用可能と思われるが、子育て支援の会計年度職員を専門で充てる方法も考えられる。どのような受け入れ態勢を考えておりますか。・利用時間や料金、障がいを持つ児童の受け入れはどのように考えておりますか。	町長



(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること。
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

令和7年9月9日
10時30分 受領

令和7年9月9日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 3番 佐藤 孝男

一般質問通告書

令和7年9月16日開催の令和7年度福島町議会定例会9月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
市街地でのヒグマ緊急発砲施行に伴う対応について	<p>2025年9月1日より法律が変わり、クマ駆除対策の主体が自治体の判断に委ねられることになりました。我町では7月12日に痛ましい事故がありました。お亡くなりなられた方のご冥福をお祈りいたします。</p> <p>捕獲するまで随分と時間がかかったように思いましたが、それには理由があり、市街地での猟銃使用は警察官が命令を出さなければ発砲できないからでした。これからは町長の判断ということになり、大変なご苦労になると思いますが頑張ってもらいたいと思います。</p> <p>そこで早急に関係団体と会合を開き、マニュアルを作成し、共有する必要があると思いますが町長のお考えはいかがでしょうか。</p> <p>また、今回と同様の対策を来年度以降も継続するのでしょうか。</p> <p>※関係団体とは、警察、消防、ハンター、町職員、町内会など</p>	町長



(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

令和7年9月9日
13時00分 受領

令和7年9月9日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 7番 熊野 茂夫

一般質問通告書

令和7年9月16日開催の令和7年度福島町議会定例会9月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
ヒグマ対策について	<p>7月12日早朝三岳市街地で新聞配達員がヒグマに襲われ尊い命が失われました。被害者のご冥福を心よりお祈りいたします。</p> <p>これまでに白符地区で畑仕事中に高齢の女性が、一昨年、千軒岳への登山者がヒグマに襲われる人身事故が発生していますが、今回のような住宅街へのヒグマ出没はこれまでは経験がなく、短時間でその最良の対応策を判断し実行する危機管理には町長、職員の皆さんは苦慮されたことと思います。</p> <p>6月上旬に月崎ニュータウン、7月9日からは月崎1、2、横綱ビーチ付近と頻繁に目撃され、12日に三岳市街地の人身事故が発生、この時点で北海道より福島町一円にヒグマ警報が発令され、7月18日3:30に捕獲、駆除されましたが、注意報に変わり8月11日まで継続されました。</p> <p>DNA鑑定の結果、高齢女性を襲った個体と、新聞配達員を襲い、月崎地区で徘徊し続けた個体のDNAが一致したとの連絡を受けました。</p> <p>この間、町民に対しては人身被害を避けるべく注意喚起が繰り返しなされ、一定の終息にいたっております。ヒグマの市街地への侵入による人身被害の危険等、ヒグマ出没に対する対応の検証と、今後の対応策はたてられていると思いますが、その基本的な考え方と、次の点についてお答えください。</p>	町長



(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 頻繁に月崎市街地に出没、徘徊時点で、町独自の警報発令の選択肢は考えられなかったのか。今後は警戒警報を町独自での発令を検討してはどうか。 2. 9月1日より改正鳥獣保護法が施行され特にも「緊急銃猟」として、市街地に侵入したヒグマを市町村の判断により猟銃で駆除できることとなりますが、町長、職員の現体制で対応できるのか。ヒグマ対策の専門家の配置等、組織体制構築の検討が必要ではないか。 3. 今後、ヒグマの市街地侵入を防ぐための電気柵等の全町設置や定期的な除草に係る人件費などの財政的措置についてどう考えているか。 	

(注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

令和7年9月9日
13時30分 受領

令和7年9月9日

福島町議会議長 溝部 幸基 様

福島町議会議員 5番 平沼 昌平

一般質問通告書

令和7年9月16日開催の令和7年度福島町議会定例会9月会議において、下記について質問したいので、福島町議会会議条例第63条第2項の規定により通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
若者の地元定着に向けた教育・雇用の連携強化について	<p>私は、過去に4回程度、若者支援や教育環境整備などを一般質問で議論、提案して参りました。今回はそれらを踏まえ、より具体的なキャリア教育と地元企業との連携強化について提案して参りたいと思います。</p> <p>福島町では、少子化及び若年層の町外流出が進行し、地域の担い手不足が深刻化しております。特に福島商業高校卒業生の地元就職率は年々減少傾向にあり、進学後のUターンも限定であると感じます。こうした状況を打開するためには、教育現場と地元企業、行政が連携し、若者が地域で働き、暮らすことへの魅力と実行性を高める必要があると思います。現実として地元企業雇用等促進事業により、卒業生を雇用した企業への助成制度を設置していますが、制度の認知度や活用率は低く、私は課題も多いと感じております。</p> <p>それは地元企業と高校との接点が限定的であり、職業理解や地域産業への関心が十分に育まれていない点。また、若者の定着支援策（住宅、交流、キャリア支援等）が断片的で体系的な支援体制がないことが要因ではないかと考えております。</p> <p>そこで提案として、</p> <ol style="list-style-type: none">①高校・町・企業による「地域キャリア教育推進協議会」などの設置を検討してみるべきではないか。②地元企業による職業講話・インターンシップの定期化③雇用促進事業の周知強化と制度改善（定着支援を含む）④若者定着に向けた包括的支援策（住宅支援、地域交流、Uターン促進等）を検討、或いは再考してみてもどうかと考えますが、ご意見を町長・教育長に伺います。	町長 教育長

- (注) 1 質問の要旨は、具体的に記載すること。
2 質問の相手は、町長、行政委員会の長又は監査委員とする。

